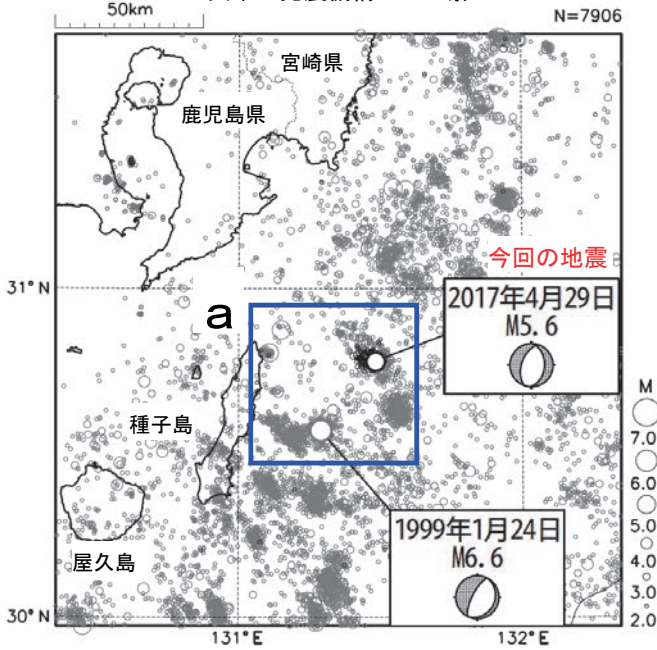


4 月 29 日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2017 年 5 月 7 日、
 深さ 0～90km、 $M \geq 2.0$)
 2017 年 4 月 1 日～5 月 7 日の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解

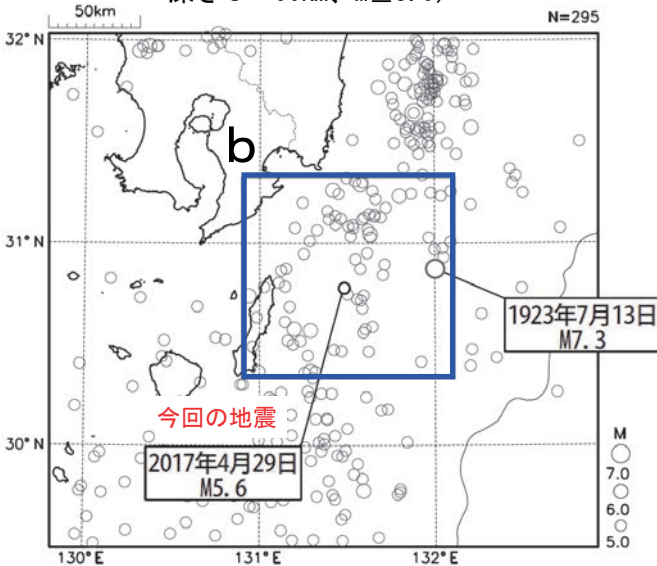


2017 年 4 月 29 日 21 時 32 分に大隅半島東方沖で M5.6 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震の発生後、震央付近 (領域 a) では地震活動がやや活発となり、5 月 7 日までに震度 1 以上を観測した地震が 6 回発生した。

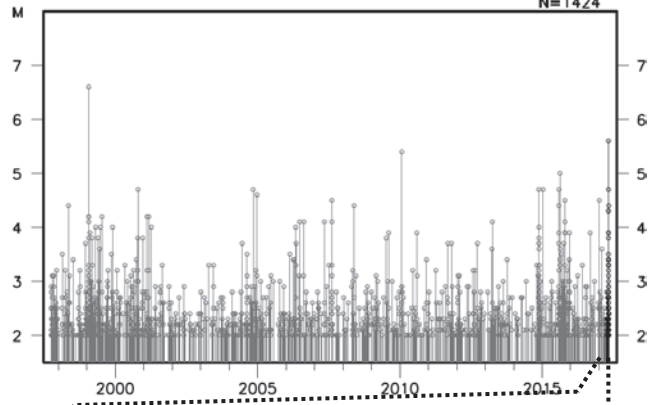
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では 1999 年 1 月 24 日に M6.6 の地震が発生し、最大震度 4 を観測した。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では M6.0 以上の地震が時々発生している。1923 年 7 月 13 日には M7.3 の地震が発生し、種子島の中種子村 (現、中種子町) で住家小破 27 棟、南種子村 (現、南種子町) で住家小破約 30 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

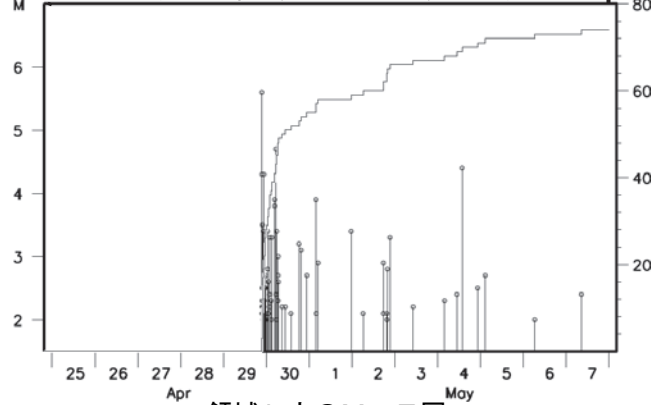
震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2017 年 5 月 7 日、
 深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$)



領域 a 内の M-T 図



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図
 (2017 年 4 月 25 日～5 月 7 日) N=74



領域 b 内の M-T 図

